

教育センター学びの丘長期研修員研修における学びについて

和歌山市立雑賀小学校

教諭 片 峰 麻 美

「教育センター学びの丘長期研修員の概要について」に示した研修の概要を基に、一年間の学びについての所感を述べる。

研究においては、自分のこれまでの実践を省察するとともに、様々な書籍や先行研究から社会科の授業づくりについて学び、考察を重ねた。実際の授業づくりに当たっては、新学習指導要領において社会科で重視すべき点として挙げられた「社会的な見方・考え方」と「課題を追究したり解決したりする活動」を意識し、所属校の教員と意見を出し合い、検討した上で取り組んだ。実践を通し、子供たちがより豊かに見方・考え方を働かせ、自ら課題を見だし、学習を進めていくためには、子供の実態に基づいた単元構想や学習展開の工夫が重要であると改めて感じた。

修養においては、様々な教科や分野に関わる研修を通して新たな視点が身に付き、今日的な教育課題について多面的・多角的に捉え、考えられるようになったことが大きな成果といえる。また、初任者研修、6年次研修、中堅教諭等資質向上研修等、様々なキャリア段階に応じた研修を聴講し、教員としてそれぞれの段階で必要とされる資質・能力について学んだことで、チームとしての学校を意識するようになった。中でも、学校組織マネジメントについての研修が、自分の学校組織の一員としての意識を変える契機となった。

今後も主体的に学び続け、授業力や生徒指導力等に磨きをかけるとともに、ミドルリーダーとして、教員同士の架け橋となり所属校における学校組織力の向上に貢献できるよう努めたい。